

2020年9月25日

花のまちづくりコンクール推進協議会

第30回（2020年）「全国花のまちづくりコンクール」受賞者決定 ～花の社会性がまちをつくる～

花のまちづくりコンクール推進協議会（会長 野路國夫）は、第30回（2020年度）「全国花のまちづくりコンクール」の各賞受賞者を、全国応募総数1,690点の中より決定しました。

【1. コンクール概要】

「全国花のまちづくりコンクール」（提唱：農林水産省及び国土交通省、主催：花のまちづくりコンクール推進協議会）は、1990年開催「国際花と緑の博覧会」の理念「自然と人間との共生」を継承し、1991年より「花のまちづくり活動の発展」及び「花の社会性の向上」を目的に、全国各地の優れた花のまちづくりを表彰しています。

【対象】

全国の「市町村」「団体（学校含む）」「個人」「企業」

【特徴「花の社会性」】

花と人、花と社会との関わり合いの中で、花が社会に及ぼすプラスの影響＝「花の社会性」をいかして、どのようにまちづくりに昇華されたかを審査します。

花の美しさや花壇の出来栄を競うものではありません。

*花の社会性が及ぼすプラスの影響例：コミュニティづくり、いきいきとした地域づくり、世代間の交流、観光振興、散乱ごみの減量、環境保全、犯罪の減少、など

【花のまちづくり推進協議会 構成団体】

（公財）国際花と緑の博覧会記念協会 （公財）都市緑化機構

（一財）日本花普及センター （公財）日本花の会

【2. 受賞者】

発表日時：2020年9月25日（金）午前11時

受賞者：別紙記載

表彰式：新型コロナウイルス感染症の状況をふまえ、中止

【お問い合わせ先】花のまちづくりコンクール推進協議会 事務局：小山・武藤

JP00MB_hananokai@global.komatsu または <http://www.hananokai.or.jp/contact/office/>

TEL：03-3584-6531 FAX：03-3584-7695 〒107-8414 東京都港区赤坂2-3-6 コマツビル

<http://www.hananokai.or.jp/city/>

第 30 回全国花のまちづくりコンクール受賞者一覧表

応募者数 1,690件	市町村部門	2	団体部門	1,487
	個人部門	144	企業部門	57

顕彰名	部門	受賞者名	所在地
花のまちづくり大賞			
農林水産大臣賞	個人部門	井上 善人	兵庫県淡路市
	企業部門	株式会社平井料理システム「仏生山の森」	香川県高松市
国土交通大臣賞	団体部門	市民協働「熊谷の力」小江川地区 1000 本桜事業	埼玉県熊谷市
	個人部門	鈴木 良枝・勝義	静岡県袋井市
文部科学大臣賞	団体部門	社会福祉法人浄英会 恵和こども園	新潟県長岡市
花のまちづくり優秀賞			
推 進 協 議 会 長 賞 花 の ま ち づ く り コ ン ク ー ル	団体部門	浦戸諸島「海と花の物語」	宮城県塩竈市
	団体部門	大湯「パンジーの会」	秋田県鹿角市
	団体部門	東海村立白方小学校	茨城県東海村
	団体部門	赤羽緑地を守る会	茨城県日立市
	団体部門	袋井市花の会	静岡県袋井市
	団体部門	つりがねにんじんクラブ	静岡県三島市
	団体部門	新川姫蛭と花を守る会	大阪府高槻市
	個人部門	益田 満智子	静岡県吉田町
	個人部門	中谷 邦子	兵庫県豊岡市
	個人部門	寺尾 康男・桂子	兵庫県朝来市
個人部門	松浦 さつき・千春	兵庫県たつの市	
花のまちづくり奨励賞			
審 査 委 員 会 賞 花 の ま ち づ く り コ ン ク ー ル	市町村部門	荒尾市	熊本県荒尾市
	団体部門	黄金自治会	宮城県涌谷町
	団体部門	向陽台四丁目公園愛護協力会	宮城県仙台市
	団体部門	南内越花いっぱいボランティアグループ	秋田県由利本荘市
	団体部門	三坂公民館	栃木県茂木町
	団体部門	中之条町花の会	群馬県中之条町
	団体部門	西宮市立段上小学校 園芸美化ボランティア	兵庫県西宮市
	団体部門	花てまりの会	和歌山県那智勝浦町
	団体部門	みなべ町立高城小学校	和歌山県みなべ町
	個人部門	後藤 光三・圭子	秋田県大仙市
	個人部門	寺崎 啓乃	富山県富山市
	個人部門	宮野 裕子	富山県砺波市
	企業部門	静鉄プロパティマネジメント株式会社	静岡県静岡市
企業部門	南海電気鉄道株式会社なんばパークス	大阪府大阪市	

第 30 回全国花のまちづくりコンクール受賞者一覧表

部門	受賞者名	所在地	受賞者名	所在地
入 選				
団体	仙台市立柳生小学校	宮城県仙台市	会津若松市立川南小学校	福島県会津若松市
	松平松風会	茨城県常陸太田市	旭町西区会	茨城県笠間市
	伊賀野の花畑	群馬県みなかみ町	川場美しいマチ研究会・ 門前まちづくり委員会	埼玉県新座市
	南大野自治会	神奈川県相模原市	中在家多面的活動団体	新潟県十日町市
	富山市立船嶺小学校	富山県富山市	富山県高岡市立野栄町自治会 花づくり会	富山県高岡市
	醍醐公民館 花と緑の推進部会	富山県高岡市	かわづ花の会 筏場地区花壇	静岡県河津町
	浜松市立泉小学校	静岡県浜松市	伊豆の国市商工会女性部	静岡県伊豆の国市
	春日井市老人クラブ 関田東高砂会	愛知県春日井市	春日井市立東高森台小学校	愛知県春日井市
	東園グリーン&フラワークラブ	愛知県尾張旭市	有脇菜の花クラブ	愛知県半田市
	花いち会	愛知県半田市	いきいき刈谷友の会ガーデニング部会	愛知県刈谷市
	刈谷市小垣江地区自治会	愛知県刈谷市	U.R 笹川なでしこ会	三重県四日市市
	甲斐町水郷会	三重県鈴鹿市	すみれ・花フレンズ	大阪府大阪市
	寺本自治会 華の部	兵庫県伊丹市	ガーデニング倶楽部	兵庫県神戸市
	西宮市社会福祉協議会 地域共生館 ふれぼの	兵庫県西宮市	姫路市立城北小学校	兵庫県姫路市
	名塩さくら台景観緑化クラブ	兵庫県西宮市	伊丹市フラワーリーダー8 期生	兵庫県伊丹市
	鶉野中町花家族の会	兵庫県加西市	網干公園みどりの会	兵庫県姫路市
	下里ともこガーデン	和歌山県那智勝浦町	古尾花の会	和歌山県田辺市
	田辺市神子浜町内会	和歌山県田辺市	白浜町立南白浜小学校	和歌山県白浜町
	海南市立巽小学校	和歌山県海南市	かつらぎ町立梁瀬小学校	和歌山県かつらぎ町
	楽々花グループ	広島県広島市	檜原ゆうあい会	山口県下関市
若松こうさてん美化 Gr	福岡県北九州市	箱崎花の会	福岡県福岡市	
フラワーアップ高宮	福岡県福岡市	霧島市立天降川小学校	鹿児島県霧島市	
個人	村井 有子	群馬県太田市	須川 伸夫	富山県南砺市
	宮崎 桂子	三重県津市	有働 美穂	三重県伊賀市
	末松 和佳子	兵庫県神戸市	奥川 きみ子	兵庫県西宮市
	尾花 幸雄	兵庫県加西市	諏訪 早苗	兵庫県姫路市
	三村 雅之	兵庫県姫路市	苅尾 安正・希美子	兵庫県たつの市
	藤田 妙子	兵庫県朝来市	太田 よしの	兵庫県香美町
	松本 直美	兵庫県南あわじ市	那須 幹夫	和歌山県田辺市
	桐原 将臣	和歌山県田辺市	森 千明	和歌山県上富田町
	森山 幸代	和歌山県田辺市	宇都 豊行	福岡県北九州市

企業	まごころ*でい*藤枝南	静岡県藤枝市	一般社団法人御堂筋まちづくりネットワーク	大阪府大阪市
	大泉緑地 指定管理グループ	大阪府堺市	社会福祉法人神愛会	和歌山県上富田町
	戸畑なかしま歯科	福岡県北九州市		

努力賞				
若葉賞				
団体	しもつけオープンガーデンクラブ			栃木県下野市
	片上まちづくり協議会生活環境部会			福井県鯖江市
年輪賞				
個人	松本 捨吉			大阪府富田林市
四つ葉賞				
団体	介護老人福祉施設豊田一空園			静岡県磐田市

●花のまちづくり大賞

農林水産大臣賞	受賞者名	活動概要および受賞理由
	<p>井上 善人 (兵庫県淡路市)</p> <p style="text-align: center;">個人部門</p>	<p>“淡路島を花で元気にしたいという一念を貫徹”</p> <p>1997年から、淡路島で自己所有のミカン園跡地 4,000 m²を「水仙の丘」として整備しています。島内には 1~2 月に開花する日本水仙の名所があるため、開花期をずらし 3~4 月に開花する黄色のラッパ水仙を軸に、1~4 月まで水仙が楽しめる地域づくりを目指しました。球根は購入せず自宅庭の 1,000 球から分球を続け、2010 年まで 13 年かけて約 17 品種、10 万本を植栽し、現在は「水仙の丘 貸花壇友の会」を創設し、8 団体の協力を得て、花がら摘み・分球・移植などの植栽管理に努めています。斜面に広がる美しい景観は評判を呼び、2008 年「あわじ花へんろ」第 48 番札所に認定されるなど、毎年県内外から多くの見学者が訪れ、地域の活性化に貢献しています。</p> <p>また、放置竹林による里山荒廃の改善にも取り組み、園内施設の他、小学校や高齢者大学にて竹工作教室やイベントを実施しています。</p> <p>地域性を考えながら美しい景観を創出する取り組みが大変高く評価されました。</p>
	<p>株式会社平井料理システム「仏生山の森」 (香川県高松市)</p> <p style="text-align: center;">企業部門</p>	<p>“仏生山に広がる、食と緑を介した憩いの森”</p> <p>2014 年より香川県農業試験場跡地(約 19,000 m²)にガーデン、ファーム、料飲施設(レストラン、カフェ、バーベキューテラス、料理教室)を備えた「仏生山の森」を築き、2019 年に開業しました。以来「食と緑を介した人々の憩いの空間」として、地域住民の他、多くの方に親しまれています。美しいガーデンは、降雨の少ない香川県でも丈夫に育つ宿根草を軸に選定し、年間を通じて見る人を楽しませています。</p> <p>ファームで生産した野菜、ハーブ、エディブルフラワーは同社施設で提供され、食品残渣は、同社が使用する食牛の畜産飼料やファームの堆肥として利用されるなど、地産循環型再利用を行っています。</p> <p>宿根草が際立つ美しいガーデンや緑豊かな農園を活用して、地域の多くの方に散策や遊びを楽しめる憩いの場を提供していることや、環境に配慮した業態が総合的に大変高く評価されました。</p>

【農林水産大臣賞】 井上 善人



【農林水産大臣賞】 株式会社平井料理システム「仏生山の森」



●花のまちづくり大賞

	受賞者名	活動概要および受賞理由
国土交通大臣賞	市民協働「熊谷の力」小江川地区 1000 本桜事業 (埼玉県熊谷市) 団体部門	<p>“協働で里山を地域の資産に蘇らせた『熊谷の力』”</p> <p>小江川地区の荒廃した里山(74,000 m²)にて、2009 年から 360 名の会員で桜(‘神代曙’)の植栽や管理をしながら花のまちづくりに取り組んでいます。耕作放棄により荒廃した里山の解消や不法投棄の防止、防犯、地域の絆づくりを目的に、新たな桜の名所をつくることを目標に掲げ、毎年 100 本ずつ 10 年間桜を植栽する計画を地権者の承諾を得ながら協働で進めました。</p> <p>2019 年に当初計画が達成された後も、維持管理や紙芝居を用いた普及啓発など活動を拡大しています。再生した里山は子どもが安心して利用できる快適な環境に変貌し、オオタカやゲンジボタルが生息するようになり、林床植生も回復しています。地名の由来となる史跡も発見され、春には自然や文化と親しむ里山ウォーキング(熊谷市主催)が開催され、新たな桜の名所として認識されつつあります。</p> <p>提案型協働事業によって荒廃林が自然と人間が共生する地域資産に蘇り、地域の活性化や振興にも繋がっていることが大変高く評価されました。</p>
	鈴木 良枝・勝義 (静岡県袋井市) 個人部門	<p>“研鑽を積み、地域に愛されるオープンガーデンへ”</p> <p>自宅の建て替えと仕事を離れ時間を得たことを機に、2006 年より夫婦で自宅庭(160 m²)のガーデンづくりに取り組み、2009 年からはバラの開花期に合わせて 3 月下旬～5 月末迄「オープンガーデン」を実施しています。期間中約 450 人が来園し、温かい交流を 11 年間続けています。ガーデンは、バラ以外にも低木や宿根草でメリハリをつける、足元の日陰はシェードガーデンとして日陰でも育つ草花をさりげなく配植する、アーチやフェンスを組み合わせて空間を上手に利用する、など随所に工夫が施されています。今年の夏は猛暑にもかかわらず、鈴木邸の草花は生き生きとしており、水やりや高温対策なども十分に行われていました。</p> <p>高い栽培管理技術を持ちながらも、「中遠オープンガーデン花仲間」や「袋井市花の会」で仲間と研鑽を積み、役職に就きながら市主催イベントで講師を務めるなど、地域に根付いた積極的な活動も大変高く評価されました。</p>

【国土交通大臣賞】 市民協働「熊谷の力」小江川地区 1000 本桜事業



【国土交通大臣賞】 鈴木 良枝・勝義



●花のまちづくり大賞

受賞者名	活動概要および受賞理由
<p data-bbox="108 353 145 618">文 部 科 学 大 臣 賞</p> <p data-bbox="172 342 405 416">社会福祉法人浄英 会 恵和こども園</p> <p data-bbox="172 450 344 483">(新潟県長岡市)</p> <p data-bbox="252 521 363 551">団体部門</p>	<p data-bbox="443 309 1177 338">“「発見！はっけん！」を合言葉に、五感で感じる気付きの花づくり”</p> <p data-bbox="443 349 1493 595">幼保連携型こども園で、「園児たちが季節の旬を感じて遊び、大人と楽しさを共有したことがある子どもは、一生自然に関心を持ち続けられる」という考えのもと、発見や感動、喜びを体験できる花と緑との関わりを目指して、1982年から38年間に亘り、花づくりに取り組んでいます。2013年度の当コンクールでは優秀賞を受賞。2018年に保育園からこども園に移行した後も、日々新たな取り組みを続けています。地域環境に合う多彩な植物・野菜の選定、園児が日々観察しやすい配置の心掛け、藍染め等の体験学習など、自然や風土に触れる様々な体験を通して0歳～5歳児が「気付き」を得るための創意工夫が随所に見られます。</p> <p data-bbox="443 607 1493 707">子ども達の考える力や協力し合う心など情操教育や科学的思考の醸成に資しており、継続的に改善を実行する姿勢の他、保護者や祖父母と一緒に取り組む花づくり、小中学校との連携、敬老会への参加など、世代を越えた幅広い交流がみられる点も大変高く評価されました。</p>

【文部科学大臣賞】

社会福祉法人浄英会 恵和こども園



●花のまちづくり優秀賞

受賞者名	活動概要および受賞理由
<p>浦戸諸島「海と花の物語」 (宮城県塩竈市)</p> <p style="text-align: center;">[団体部門]</p>	<p>浦戸諸島は日本三景の松島に属する島々からなる離島で、2011 年秋から有人の4島を中心に活動を実施しています。東日本大震災で被災し、過疎化の進む島民を元気づけようと、塩竈市内在住の代表が同年 11 月に全国から提供されたチューリップなどの球根 3,000 球を瓦礫が片付けられた土地にボランティアと植えたことが活動の始まりです。現在、32 人の会員は主に桂島で活動しています。スイセン等の秋植え球根を中心に、四季の草花も加えた花づくりをしており、島民や小中学生、県内外のボランティア団体などと協力しながら、かつて菜の花の島として有名だった島に、ビタミンカラーの黄色を基本色として、海と花がコラボした美しい風景づくりを目指しています。</p> <p>花の力で被災地に元気をもたらしたい、おすそ分けしたという気持ちが伝わる活動が高く評価されました。</p> 
<p>大湯「パンジーの会」 (秋田県鹿角市)</p> <p style="text-align: center;">[団体部門]</p>	<p>国の特別史跡に指定された大湯環状列石に隣接する休耕地(4,000 m²)で 2006 年から花壇づくりを開始。ほぼ全ての草花が自家生産で、市内の施設や花壇などに余剰花苗を配布する緑化活動にも貢献しています。地域を元気にしたいという思いが花壇づくりに反映されており、観光資源と花を組み合わせた名所として期待されています。広い花壇面積ながらデザインや管理などは自分たちで行い、草花の特徴を活かした立体的で奥行きのある花壇です。自家生産苗(15,000 本)の栽培技術は高く、大湯小学校と連携して「子供たちと笑顔でつむぐ花のこころ」をテーマに草花の扱い方や植栽の仕方を指導しています。</p> <p>花壇活動を優しさや素直な心を育む情操教育として活用していることや、地域に密着した活動の輪が確実に広がりを見せていることが高く評価されました。</p> 
<p>東海村立白方小学校 (茨城県東海村)</p> <p style="text-align: center;">[団体部門]</p>	<p>学校内の花壇 1,000 m²の他に、花苗の一部を高齢者施設や幼稚園などにも提供しています。2010 年から活動を開始し、現在、生徒は 587 人、職員は 41 人。中庭の周辺に点在する古墳群の一部が敷地内にあることから、歴史的資産を活かした「いにしえガーデン」をメイン花壇として整備しています。また、屋上庭園も整備されており、児童が身近に自然や草花に触れる機会が増えています。学校では、花の美しさや自然を慈しむ心を育てる情操教育の一環として花壇づくりを位置付けています。全ての花 10,000 本が自家生産苗で、種まきから育苗は栽培委員会が中心に行い、定植などは全校生徒で実施しています。</p> <p>校内の花壇整備作業を保護者や地域住民に呼び掛けて一緒に行う体制が出来上がっているなど、地域に根付いた活動が高く評価されました。</p> 
<p>赤羽緑地を守る会 (茨城県日立市)</p> <p style="text-align: center;">[団体部門]</p>	<p>2003 年から 25 名で赤羽緑地(73,000 m²、愛称: 自然観察ふれあい公園)の維持管理と魅力向上に取り組んでいます。軟弱地盤で放置されていた市有地が公園化されたのを機に、公園里親制度を活用した維持管理が始まりました。雑木林や大小の池がある立地を活かしてミズバショウの群生地を整備した他、丘陵地に生育していたヒガンバナを拡充し、2019 年には新たな花壇も造成しました。</p> <p>子どもや市民が対象の自然観察会、生き物採集会、お花見コンサートなどを開催すると共に、活動を通じて再発見された遺跡(赤羽横穴墓)の整備・案内にも取り組んでいます。</p> <p>荒廃地を地域の資産・交流の場に協働で再生した事例で、小学校の環境教育の実践の場としての活用や高校生の自主的な協力もあり、地域に定着している点が高く評価されました。</p> 

推進協議会長賞

●花のまちづくり優秀賞

受賞者名	活動概要および受賞理由
<p>袋井市花の会 (静岡県袋井市)</p> <p style="text-align: center;">[団体部門]</p>	<p>花のまちづくりを通じて人々の輪を広げ、「人も自然も美しく活気あふれる健康文化都市」を目指して、1967年に、婦人会・老人会・観光協会・ライオンズクラブが集まって結成されました。袋井市花の会には10支部あり、60代から80代の会員83名で活動しています。各支部が駅前広場などの公共施設や公園、道路沿いの花壇などを受け持ち、11箇所・計425.3㎡で取り組んでいます。デザインはその年に開催されるイベントなどをモチーフにし、それぞれの場所の環境に合わせた花壇づくりに努めています。</p> <p>美しい景観づくりにつながる花壇整備活動のみならず、特別支援学校等での花育など、半世紀以上の長期にわたる花と緑のまちづくり活動が地域課題の解決や地域振興に繋がっていることが高く評価されました。</p> 
<p>つりがねにんじんクラブ (静岡県三島市)</p> <p style="text-align: center;">[団体部門]</p>	<p>市内のバサディナタウン分譲地内で、道路沿い・児童公園・集会所・河川公園など、6箇所・120㎡で花壇づくりをしています。道路沿いの荒れた空き地の美化を目的に、花好きが集まって始まった花植え活動は2005年から16年間継続しており、通行人の目を楽しませて新たな地域交流を生むなど、花と緑のあるまちづくりに貢献しています。手入れの行き届いた美しい花壇、緑豊かな町内環境にマッチした花壇を意識して花植えをしており、花壇それぞれに色合いや高さなどの組み合わせを変えて立体的な花壇を作っています。花苗は種からの育苗に注力し、植栽される花苗の半数を自家生産苗が占めています。</p> <p>工夫しながら新しい植物に挑戦している点や、厳しい天候の中でも良く手入れされた花壇が高く評価されました。</p> 
<p>新川姫蛍と花を守る会 (大阪府高槻市)</p> <p style="text-align: center;">[団体部門]</p>	<p>希少な陸生蛍であるヒメボタルが生息する新川河川敷の遊歩道約700mで、蛍の保護活動と花づくりを一体的に行っています。2003年から活動を開始し、国土交通省の認可を受けて1kmに渡る土手の清掃活動も実施。活動場所は、市街地でありながら自然が残っており、春には桜も咲きます。蛍の保護活動や環境美化活動が市民に伝わり、ゴミのポイ捨てが無くなり、ゴミを拾ってくれる住民も増えました。蛍保護のための減灯や活動費のためのアルミ缶提供など、周辺企業も積極的に協力して活動の輪が広がっています。</p> <p>土手の管理方法を国土省河川管理事務所や高槻市と粘り強く協議して適正に運営する取り組みや、河川占有許可を得て「蛍の生息環境保全と花のまちづくりとの連携」を行っている点が高く評価されました。</p> 
<p>益田 満智子 (静岡県吉田町)</p> <p style="text-align: center;">[個人部門]</p>	<p>2011年より、自宅周辺道路沿いを散歩道として花で整備すると共に、自宅庭の花桃や桜など植栽を見学者に開放しています。また、吉田町の町花「菊」の栽培技術を絶やしたくないという思いから、菊栽培に精通した方に指導を仰ぎ、菊栽培にも挑戦。秋には前庭を大菊、懸がい菊、ろうそくなど様々な菊鉢で飾り、「20周年アニバーサリーワールドフェスタ2016 in Yoshida」時には吉田町体育館の飾りつけにも協力しました。</p> <p>警察署前、小山城なかよし花壇、吉田町花の会やまびこ花壇、吉田町立自彊小学校ガーデン、支援学校などで地域ボランティアのメンバーや児童と一緒に花壇やコンテナによる花づくりを実施したり、小学校での寄せ植え教室にも参画するなど、地域住民への普及を促す取り組みや質の高い花飾りが高く評価されました。</p> 

推進協議会長賞

●花のまちづくり優秀賞

受賞者名	活動概要および受賞理由	
中谷 邦子 (兵庫県豊岡市) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">個人部門</div>	<p>2002年より、自宅の庭(200㎡)、隣接する休耕地(30㎡)、近くのお寺(玄関前の寄せ植え)で花づくりを開始。緑豊かな田舎暮らしをしようと、夫婦で神戸市から旧但東町に移住してガーデニングに取り組みました。庭造りは「四季折々の風情が感じられる癒しの庭」を目標に、宿根草やバラを中心として、自作のメールボックス、プレート、トールペイントしたコンテナなどを組み合わせ、高低差と色彩に溢れるボリューム感ある花飾りを外向きに展開しています。県主催のイベントにも参加要請がくるほど草花の知識や栽培管理技術は高く、花仲間や関係者から頼られる存在となっています。</p> <p>ガーデニングを楽しむだけでなく、地域に花づくりの輪を広げようとクリスマスやお正月用に飾る寄せ植え教室を長年開催するなど、花と緑と潤いのある生活空間を創造し続けていることが高い評価を得ました。</p>	
寺尾 康男・桂子 (兵庫県朝来市) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">個人部門</div>	<p>2003年から夫婦で自宅のオープンガーデン(200㎡)での花づくりや朝来市内の花のまちづくりに取り組んでいます。きっかけは、2002年の朝来花いっぱい協会での活動に町役場職員として関わり、夫婦ともに花好きであったことから現在の活動に繋がっています。オープンガーデンは開催当初より継続して参加し、年間300人以上が訪れる人気ガーデンです。地区内の遊休地での花の植栽、駅やバス停でのプランター設置など、公共地での花のまちづくりも積極的に実施しています。また、自身が代表を務める「なでしこの会」は、夜久野高原花畑の維持管理や、県の花緑いっぱい運動推進委員(但馬地域)も務めています。</p> <p>美しいオープンガーデンだけではなく、地域での活動に積極的に取り組みながら実績を上げていることが高く評価されました。</p>	
松浦 さつき・千春 (兵庫県たつの市) <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">個人部門</div>	<p>自宅庭と休耕地(約12a)に1年草を中心とした花園づくりに姉妹で取り組んでいます。昭和30年頃の減反政策を機に、祖父が「目と心に栄養を」との想いで休耕地に花を植え始めました。その想いを母が引き継ぎ、愛情をもって育てた花園は「ちづちゃんの花園」の名称で地域内外に幅広く親しまれ、『西播磨花の郷』として定着しました。2019年に母が他界し、娘姉妹で活動を継続し、SNSやHPを利用しながら花のまちづくりを推進しています。通年で公開している花園には3,000人もの見学者が訪れ、春にはコンサートが開催される他、ワークショップやイベントにも活用されるなど、地域住民の交流拠点にもなっています。</p> <p>親子3世代で紡いできた花園は花の魅力が最大限に発揮されており、訪れる人に感動を与える観光名所になるなど、大きな波及効果が高く評価されました。</p>	

●花のまちづくり奨励賞

審査委員会賞	<p>受賞者名</p> <p>荒尾市 (熊本県荒尾市)</p> <p>市町村部門</p> 	<p>受賞者名</p> <p>黄金自治会 (宮城県涌谷町)</p> <p>団体部門</p> 
	<p>向陽台四丁目公園 愛護協力会 (宮城県仙台市)</p> <p>団体部門</p> 	<p>南内越花いっぱい ボランティアグループ (秋田県由利本荘市)</p> <p>団体部門</p> 
	<p>三坂公民館 (栃木県茂木町)</p> <p>団体部門</p> 	<p>中之条町花の会 (群馬県中之条町)</p> <p>団体部門</p> 
	<p>西宮市立段上小学校 園芸美化ボランティア (兵庫県西宮市)</p> <p>団体部門</p> 	<p>花てまりの会 (和歌山県那智勝浦町)</p> <p>団体部門</p> 
	<p>みなべ町立高城小学校 (和歌山県みなべ町)</p> <p>団体部門</p> 	<p>後藤 光三・圭子 (秋田県大仙市)</p> <p>個人部門</p> 
	<p>寺崎 啓乃 (富山県富山市)</p> <p>個人部門</p> 	<p>宮野 裕子 (富山県砺波市)</p> <p>個人部門</p> 
	<p>静鉄プロパティマネジメント 株式会社 (静岡県静岡市)</p> <p>企業部門</p> 	<p>南海電気鉄道株式会社 なんばパークス (大阪府大阪市)</p> <p>企業部門</p> 